



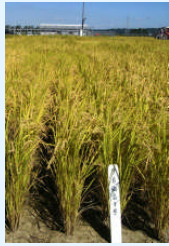
福島県開発 オリジナル品種

福島県が独自に開発・育成した新品种をご紹介します！

(畜産・きのこを除く)

普通作物

天のつば (うるち米)



草丈が短いので倒伏しにくく、いもち病にも強い栽培しやすく、食味の良い品種です。

ふくみらい (うるち米)



栽培しやすく、収量性があり、食味・品質ともに良好な品種です。

夢の香 (酒造好適米)



玄米の中心が白濁する「心白」の発現が良好です。

会津のかおり (ソバ)



秋そば向きの品種で、製麺時の評価では、水の浸透性が良く伸ばし時の割れが少ない等、製麺時の操作性に優れます。

野菜

ふくはる香 (イチゴ)

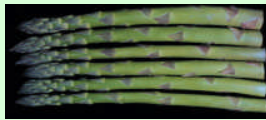


厳寒期の草勢の低下が少なく、糖度は高く、酸度がやや高く、食味が良好です。



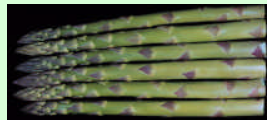
ふくあや香

ハルキタル



生産物の揃いが良く、全雄系統のため野良苗の発生がありません。

春まちグリーン (アスパラガス)



収穫若莖が太いため、収穫・調製作業省力化できます。

はるむらさきエフ



収穫若莖が紫色に着色する紫アスパラガス品種で、グリーン品種と比べて甘味が強く、軟らかく、筋が残りにくいです。

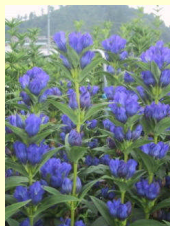
花き

ふくしまみやび



開花期：7月下旬～8月上旬

ふくしまさやか



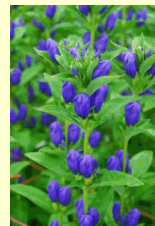
7月下旬～8月上旬

ふくしまかれん (りんどう)



9月中旬～下旬

ふくしましおん



8月中旬～8月下旬

ふくしまほのか



9月上旬～9月中旬

果樹 (モモ)

はつおとめ



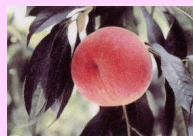
果重は 120～140g が中心でやや小振りですが、色づきが良く、香りも強い品種です。

ふくおとめ



「はつおとめ」とは兄弟にあたり、着色が良く、果肉も滑らかで食味は甘味と酸味が適度にあり良好です。

ふくえくぼ



本県の主力品種「あかつき」から茎頂培養と放射線育種技術を駆使して育成した早生品種です。

ふくあかね



肉質が緻密で果汁が多く、甘みと酸味が調和した濃厚な食味です。

はつひめ



早生品種で収穫期は7月上旬。肉質は滑らかで、果汁が多く、食味は香りが豊富で甘味があります。

果樹

あづましずく



8月上～中旬に成熟する種無しブドウで、「巨峰」と比較すると肉質が柔らかく、皮離れもし易い特徴があります。

ふくしずく (ブドウ)



青色ブドウ系の種なし早生品種で、やや酸味が強いが、糖度は高く、完熟すると濃厚な食味となります。

ほおずり



さわやかな甘酸っぱさが特徴で、そのまま食べても調理してもおいしいリンゴです。

緋のあづま (リンゴ)



着色が良好で、食味は甘酸のバランスが良く、果汁が多く濃厚な味ながら後味は爽快です。

涼豊 (ナシ)



大果で果形の揃いが良く、甘味が高く酸味が弱く、果汁が多いため食味が良好です。

特用作物

かいしゅうさん (オタネニンジン)



オタネニンジンとは、一般に「薬用人参」や「朝鮮人参」と呼ばれている植物の和名で、古来より薬用人参として珍重されています。生育が旺盛で、根の形が良く、加工した時の製品の品質が優れているのが特徴です。写真左：会津在来種 右：かいしゅうさん

きぬゆたか (桑)



生育が旺盛で、良質の葉が多く収穫できます。また、樹が直立しているため、管理しやすく機械収穫に適しています。